

～ 会計を通じて人に幸せを ～

Hirai's レビュー

2013年5月号 (53)

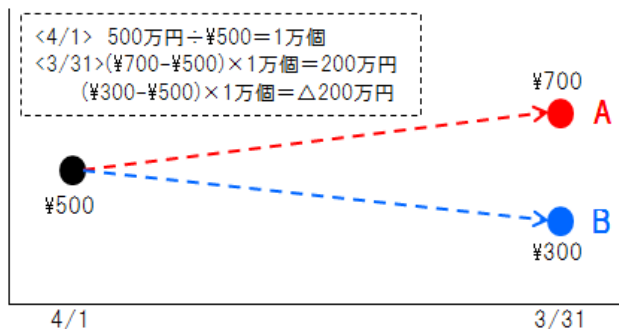
平井会計事務所 税理士 平井満広
〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1
芝浦アイランドエアタワー1704号
電話:03-3452-7082 Fax:03-6303-3350
Mail:m_hirai@hirai-ao.com
URL:http://www.hirai-ao.com/

アベノミクスでひと儲け!? 値動きと利益のしくみ

「リーマンショック前の株価回復」、「4年半ぶりに為替相場が1ドル100円突破」など経済の話題が活況です。景気回復の期待感もあって、投資にチャレンジする方が増えているようです。「儲かる方法」は残念ながらわからないので「値動きと利益計算のしくみ」をご紹介します。

どちらが儲かる?(現物取引)

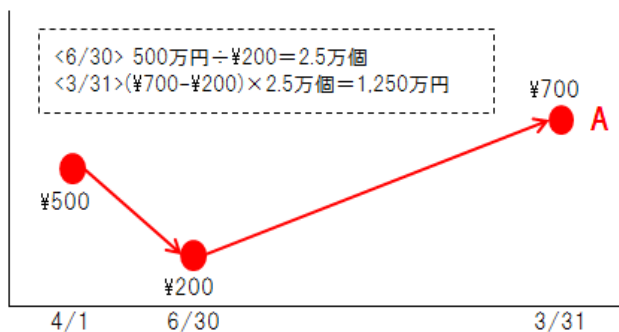
4/1時点でAとBの価格は同じ¥500ですが、ある情報で、1年後にAは¥700に値上がり、Bは¥300に値下がりすることがわかっています。どちらに投資すべきでしょうか。



元手500万円で4/1に「買い」、3/31に「売る」場合、Aは『200万円』の儲け、Bは『200万円』の損になります。これだけならAに投資をした方がよさそうです。

Aの値動き(6/30買、3/31売)

もっと儲かる方法はないかと思い、Aの値動きを調べると6/30に¥200に値下がりすることがわかりました。この場合であれば、6/30に「買い」、3/31に「売る」ことができれば儲けは『1,250万円』になります。

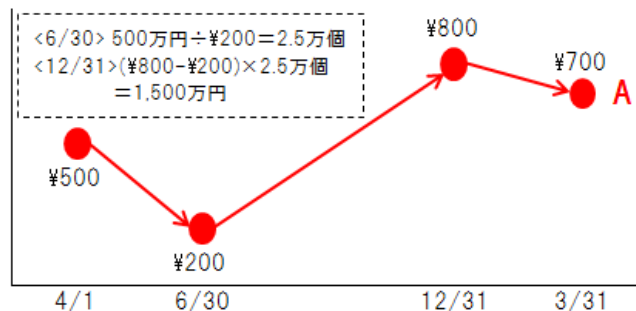


ちなみに、4/1に「買い」の後、慌てて6/30に「売る」と『300万円』の損失になります。

Aの値動き(6/30買、12/31売)

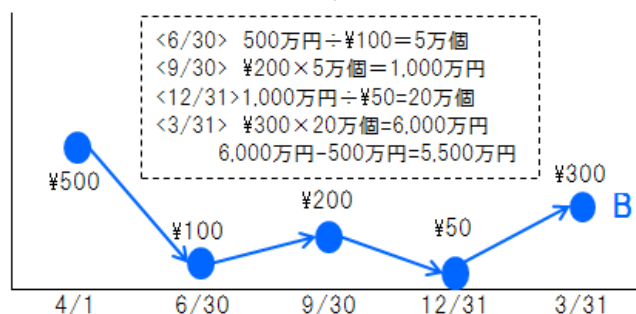
さらにAの値動きを調べると12/31に¥800まで値上がり

するのがわかりました。6/30に「買い」、12/31に「売る」ことができれば儲けは『1,500万円』になります。



Bの値動き

同じようにBの値動きを調べると、以下のとおり6/30に¥100に値下がり、9/30に¥200に一旦値上がり、12/31に再度¥50に値下がることわかりました。この値動きの場合はどうやって売り買いすべきでしょうか。例えば、値上げ幅が一番大きい12/31で「買い」、その後3/31で「売る」ことができたなら儲けは『2,500万円』です。先程のAの値動きでは最大『1,500万円』の儲けだったので、Bの方が儲けが多くなる計算になります。つまり価格が長期的に上がるか下がるかにかかわらず、価格の動き方(値動き)と「買い」「売り」のタイミングによって利益を出せることとなります。



なお、6/30に「買い」、9/30にすべて「売り」、その資金で12/31に「買い」、3/31に「売り」ができれば、最大で儲けは『5,500万円』になります。

投資は自己責任で

もちろん、値動きは事前にわかるはずがないのでこんなにうまくはいきません。損失が発生することもあるので、投資はよく考えようで、自己責任で行いましょう。

このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。